

会合

令和元年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の初回会合を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（新興国等におけるエネルギー使用合理化等に資する事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、2019年7月17日～18日の2日間、ベトナム・ホーチミンで初回会合を開催し、本年度のAJEEP(ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)の事業計画・取組み内容等を説明し各国と今年度事業実施内容の討議を行ないました。

- (1) スキーム2は、エネルギー管理士指導職育成に向けた事業として4年計画の最終年度を継続実施する。
- (2) スキーム3はカンボジア・ラオスを対象に省エネ法関連諸制度について継続支援する。
- (3) GBC (Green Building Code), ZEB (Zero Energy Building) ファミリーについて受け入れ研修を実施する。



オープニングスピーチ：ホスト国（ベトナム）・ECCJ・EE&C-SSN（タイ）



オープニングスピーチ（ACE）



討議風景



集合写真

「令和元年度のASEANに対する省エネ人材育成事業」の具体的な活動実施計画作成のための会議（ベトナム・ホーチミン）に参加しました。会議にはASEAN各国からASEAN省エネルギー部会（EE&C-SSN）の代表（Focal Point 又はその代理）及びACEが参加し、本年度の実施計画を決定しました。

- (1) スキーム2のエネルギー管理士指導職育成事業内容に関して、昨年度の成果について各国から評価され、引き続き4年目としてプログラムの継続が承認されました。また今年度プロジェクト終了以降の進め方について提案し、討議を継続することになりました。
- (2) スキーム3については、国家省エネ計画（カンボジア）・省エネ首相令（ラオス）の承認プロセス進捗および両国のS&L規則文案の最終化を支援し、また、エネ管理制度整備にも重点を置く活動を実施することを提案・合意しました。
- (3) GBC、ZEBファミリーの理解浸透、次年度のZEB案件表彰実現に環境整備を目的に、受入研修を実施することを提案・合意しました。

* AJEEP : ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership

専門家派遣と受入研修を通じてASEAN地域の省エネ人材を育成するプログラム